

令和二年度 第二回 延期公演

観世流

緑泉会

令和三年

二月十一日(木・祝)

午後一時開演

喜多六平太記念能楽堂

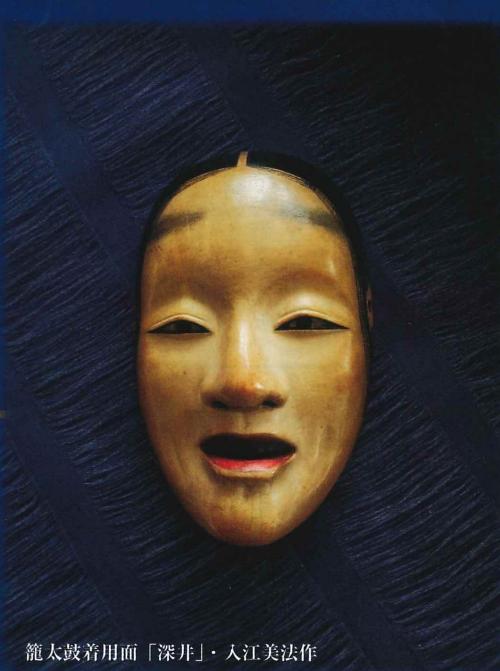
お客様各位

この活動自粛要請によりやむなく延期致しましたが、第一回例会の延期公演を開催致します。新型コロナウイルスの感染が拡大しつつある中、この先の状況がどのようになるかわかりませんが、能楽の公演が、たとえ東の間でも、皆さまの心の安らぎとなるよう努めて参りたいと思います。

* 新型コロナウイルス等の感染防止の観点より、今は、公益社団法人能楽協会の「能楽堂における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」、ならびに公益社団法人全国公立文化施設協会の「劇場・音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に沿って公演を開催します。



「鶴 白頭」中所宜夫（撮影 芝田裕之）



籠太鼓着用面「深井」・入江美法作

能 Noh 篠太鼓
狂言 Kyogen 富士松
鶴 白頭 Nue shirogashira 梶澤 陽子
能 Noh 狂言 Kyogen 大藏 吉次郎
鈴木 啓吾

【お客様へのお願い】

- ご入場の際はマスクをご着用の上、入口にてアルコール消毒と検温にご協力下さい。
 - 37.5℃ 以上の発熱や咳、嘔吐などの症状がある場合、入場をお断りいたします。
 - チケットの切り離し部分に、お名前とご連絡先（メールアドレス、または電話番号）をご記入下さい。未記入の場合は、入場の際に記帳をお願い致します。
- ※万一、来場者ならびに出演者、スタッフに感染の疑いが生じた場合、所轄の保健所へ来場者情報を提出する場合がございます。
- 当日の社会状況により、使用可能な座席の指定ならびに館内での会話・飲食などの制限を致します。スタッフの指示に従って下さい。
 - 上演中も換気のためにロビーとの扉を開ける場合がございます。外部の音が障りになる場合もございますが、ご了承下さい。
 - 上演にあたり、演者も感染予防のための対策を講じますことをご了承下さい。
- 皆様の健康と安全を第一に考えております。ご不便をおかけすることもございますが、何卒ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

能籠太鼓
（清次ノ妻 杉澤 阳子）

領主ノ下人 大日方 寛 大鼓 佃
小鼓 森 佃 貴史 笛 楠宅 聰

河井 美紀 後見 津村 禮次郎

狂言 富士松 太郎冠者 大藏 吉次郎 主 榎本 元

【休憩十五分】

元

吉留 敬高 坂 真太郎 中所 宜夫 奥川 恒治 桑田 貴志

笛 楠宅 聰

尋ねるが、知らぬと言うので女を籠に押し込む。下人は女を罵るが、松浦某はこれを咎め、籠に鼓を掛け時を打つて番をするよう命じる。

その夜、女は狂氣する。肩脱ぎに肌を露わに泣き伏す様は、番をする下人にもそれと知れ、松浦某もやつて来る。女は、清次の行方を教えて、籠を抜け出て来た行方を尋ねるが、知らぬと言うので女を籠に押し込む。下人は女を罵るが、松浦某はこれを咎め、籠に鼓を掛け時を打つて番をするよう命じる。

清次の妻（シテ）を引き立てて来て行方を尋ねるが、知らぬと言うので女を籠に押し込む。下人は女を罵るが、松浦某はこれを咎め、籠に鼓を掛け時を打つて番をするよう命じる。

その夜、女は狂氣する。肩脱ぎに肌を露わに泣き伏す様は、番をする下人にもそれと知れ、松浦某もやつて来る。女は、清次の行方を教えて、籠を抜け出て来た行方を尋ねるが、知らぬと言うので女を籠に押し込む。下人は女を罵るが、松浦某はこれを咎め、籠に鼓を掛け時を打つて番をするよう命じる。

杜若キリ（かきつばた）

三河国八橋でその昔在原業平の歌に詠まれた杜若の精が、旅僧の夢中に現れ、草木でも成仏する有様を見せる。あたりには杜若に菖蒲も混じり卯の花も咲いている。その白い花に誘われるよう夜が白々と明ける。

融（とおる）

昔、都五条に塩釜の浦を模した壯麗な御殿・河原ノ院を作った、源融の靈が、荒れ果てた遺跡を訪ねた僧の夢の中に現れ、往時の榮華を舞に舞う。

能・鶴（ぬえ）

諸国一見の僧（ワキ）が三熊野での山籠を果たし西国行脚に向かつたところ、芦屋の里で日が暮れた。里人（間狂言）に宿を請うが禁制を理由に断られ、洲崎の御堂に夜を過ごすこととなつた。夜更け、海に舟影が立ち茫として人影（前シテ）が見える。苦しみと嘆きに満ちている風だが、言葉を交わせば「芦の屋の灘の塩焼き暇なみ黄楊の小櫛はささず来にけり」と古歌を引く風雅も見せる。舟人は鶴の亡心だった。近衛院の時、帝の災厄となり源頼政に退治された子細を物語り、再び舟を揺らめかせながら帰つて行つた。

祥言 富士松 東方朔 新井 麻衣子 永島 充 後見 藤村 佐久間 二郎 中森 健之介 里人 大藏 教義 殿田 謙吉 原岡 一之 充彦 住駒 隆之 吉谷 潔 鈴木 啓吾 白頭 仕舞 能・鶴

【終了予定 午後四時十五分】

許可のない録音、撮影は一切禁止です。携帯電話は電源からお切り下さい。場合によっては退場頂く事もございますのでご了承下さい。

附祝言

能・籠太鼓 (ろうたいこ)

九州松浦の何某（ワキ）が登場し、家来の清次が罪を犯したので籠に入れた事を語り、下人（間狂言）にその番を申し付ける。

しかし清次は既に籠を抜け出ていた。松浦某は清次の妻（シテ）を引き立てて来て行方を尋ねるが、知らぬと言うので女を籠に押し込む。下人は女を罵るが、松浦某はこれを咎め、籠に鼓を掛け時を打つて番をするよう命じる。

の二人の仙人が舞を舞う。やがて夕陽も傾き、二人は武帝に暇を告げ、再訪を促されるが、そのまま龍に乗つて雲路遙かに帰つて行く。

現行の仕舞で複数人で舞う曲は七、八番あり、その中の一つ。

東方朔（とうほうざく）

漢の武帝の治世を称えて、東方朔と西王母

無斷で旅をしていた太郎冠者が戻つたと聞き、主人はその私宅へ行き太郎冠者を叱るが、富士参詣と聞いて機嫌を直す。太郎冠者が富士の松を持ち帰つたと知り、その松を見ればどうしても欲しくてたまらない。松をかけて連歌で勝負をするが、太郎冠者は達者で、主のくり出す上の句下の句に、それぞれ巧みに下の句上の句を付ける。主は次第に不満を募らせ、最後に太郎冠者は「蛟腹立つれば鷗喜ぶ」と、怒つている主人をケラに例える句を付けたため、主はこれを叱りつける。

仕舞

2021.
2.11(木・祝) PM1:00 (開場 12:00)
喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 品川区上大崎 4-6-9
☎ 03-3491-8813

JR、東急目黒線、地下鉄三田線・南北線の目黒駅西口より徒歩7分
香港園手前の道を左折し約400m直進、杉野学園体育館手前を左に入る。

※駐車場がございませんので、お車でのご来場はご遠慮下さい。



入場料

会員券（年4回）一般 20,000円 学生 10,000円
1回券（当日券）一般 6,000円 学生 3,000円

申込先：各出演能楽師または緑泉会まで

杉澤 阳子 TEL&FAX 03-6326-6645
鈴木 啓吾 TEL&FAX 03-3269-7018

令和3年度 第1回例会 5月30日(日)

能… 鶴亀 Tsurukame 杉澤 阳子
能… 藤 Fuji 藤村 禮次郎